学校番号	307

令和２年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	高校生の美術　（日文書店）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ

・過去の芸術から学びとり、感受性を養うための鑑賞、自主的に表現をする創作、互いに作品を批評し合う意見交換（合評）を学習します。
・美術以外の表現・手法を違うジャンルではなく同じ地平にあるという意識で考えて、動機や新規さを評価し合える環境の場としての美術、を目指したい。
・表現するということを生徒が個々に意識して、意思をもち作品制作する姿勢を学ぶ。

2　学習の到達目標

・美術の活動を通じ、生涯にわたり芸術を愛好する心を育て、感じる力と互いに理解する力を養っていく。美術を身近なものとして親しむことから始め、広く芸術を理解する力を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a, 美術への関心・意欲・態度	b, 発想や構想の能力	c, 創造的な技能	d, 鑑賞の能力
観点の趣旨	表現する行為を衒いなくできるようになる。素直な表現を形にできるようになる。他者の表現を認め合えるようになる。	関心事や事象からテーマを導き、作品として形にしていくことができているか。	二次元、三次元の絵画・造形の基本的理解と技法表現がなされているか	自作や他者の作品を自分の意見で評価し、日々互いに認めあっているか
評価方法	制作の様子 知識と経験を制作に生かせているか。	アイデアスケッチ タイトルやテーマについて	作品	作品・ワークシート 合評会

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	課題名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	デッサン(木炭・着彩)	・鑑賞・絵画、クロッキー・デッサンなど ・木炭デッサンで木を描く ・水彩で木を描く	○ ○	○ ○ ○	○ ○		a.　基本的技法と知識を理解できているか 表現が出来ているか b.　説明を理解できているか c.　作品を美しく仕上げる努力があるか。作品に愛情をもっているか	制作態度 作品
2学期	色彩について	・鑑賞・絵画、水彩作品など ・水彩で補色をつかって似顔絵を描く ・白コンテで黒画用紙に手を描く ・水彩で花を描く	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○	a.　立体感について表現できているか。 b.　明暗（ヴァルール）と補色について理解できているか c.　自然物のデリケートな性格をうまく捕らえているか。 d.　説明を理解しているか	制作態度 作品
3学期	うまく描くコツについて	・鑑賞・絵画作品 ・空気遠近法を学ぶ ・パースの種類を学ぶ(一点パース演習・教室を描く)	○ ○	○ ○	○ ○	○	a.　絵画に奥行きを出せているか b.　きれいに仕上げる努力がされているか。 c.　適切なテーマで描かれているか d.　説明が理解されているか	制作態度 作品

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。